

素敵に今を生きる ～小さな声をチカラにかえて～ PART 3



相原クラブ 4役のみなさん

- 会長 森田さん
(写真:下段真ん中)
副会長 生田目さん (下段左)
波形さん (下段右)
幹事長 星さん (上段左)
会計 佐藤さん (上段右)



特集テーマは「地域のつながり」

令和の「今」を生きる人たちに焦点をあて、紹介する令和元年ひだまり特集の第2弾。

今回は「地域のつながり」をテーマにしてみました。少子高齢化が着実に進む中、コミュニティの力が弱まっているとも言われます。そのような中、地域の高齢化問題を自分たちで考え、行動しようと2017年に立ち上げた「相原クラブ」のみなさんにお話しを伺いました。

インタビューに答えてくださったのは森田会長、生田目副会長、波形副会長、星幹事長、佐藤会計の相原クラブ4役の皆さんです。

(記事にするにあたり、内容を再構成しています。)

Q. 相原クラブは3年目となりましたが、何か課題などはありますか？

佐藤さん：私は会計なので、お金がもう少しあればとも思いますよね。例えば食べる物も、もっといいものを出したいけど予算を考えると中々難しいです。

森田さん：年会費は500円ですが、イベントでお金が必要になるような時には、参加費として500円いただいています。

佐藤さん：例えば、グラウンドゴルフは参加費無料で行いますが、その後の懇親会ではお金をもらうという感じですね。この間も、ゴルフより懇親会の方が参加者多くてね～。

波形さん：参加しやすい金額と思うと500円くらいがちょうどいいのですが…。

星さん：良し悪しは別としても、今までは役所がやってくれている、やってくれるものだと思っている人が、私も含めて多いですよ。しかし、国の社会保障が後退するなかで、自らも社会保障関係に足を突っ込んでいかないと、誰もやってくれなくなっていきます。そういう意味では自分ごとの意識が高まるのは、一つの成果だと思います。社会保障が後退することは間違いないので、それにあつたサポートについて自分たち自身がどうするかということがこれから求められていくと思います。そうはいても、相原クラブだけで行うことでもないですから、その辺りとの整合性をどうとるかということでしょうね。

森田さん：今後の課題としては、現在の役員の方も数年後の健康状態がわからないので、役員の育成が大事になってきます。幸い若い人が一人、60歳で相原クラブに入って役員になってくださいました。若い人に会に入ってもらい、役員として活躍できるような土台としてサポートできればと思います。継続していくには役員がしっかりしていないとどうにもなりません。自分たちが年をとったときに後継者がいないと終わってしまいます。そのためにも回覧で相原クラブニュースを回して、アプローチしていくという形をとっていければと思います。





Q. 活動で大切にしていることを教えてください。

生田目さん：「無理をしない」がモットーですね。

星さん：例えば、ニュースが出たら、森田会長と副会長に持っていきます。そうすると幹事にそれぞれ渡してもらえて、配布されます。会長や副会長が全部やるのではなくて、みんなで分担して「無理しない」ようにしています。

波形さん：これは「無責任」なのではなく、無理しなくていいから、長続きする活動にしようということです。

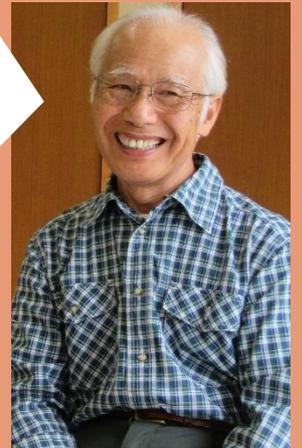
星さん：活動に誇りをもつということが大切なのだと思います。自分個人のためだけではなく、相原区のため、地域全体の住みよさの底上げにもなる活動をしているということが「誇り」ですかね。地域に困りごとがあり、それをみんなで考えて解決して、喜ばれて…それが自分自身のほこりや地域の愛着、相原クラブの活性化につながっています。「大変だね」ではなくて、「じゃあ工夫してやろうか」という言葉が出てくるのは、そうした部分も大きいように思います。

Q. 最後にお1人ずつお願いできますでしょうか。



副会長 波形さん

区長を終えて、地域みなさんとどういう風にかかわっていくのがいいのかと考えていた時に、星さんから高齢者クラブを作りたいと声をかけてもらいました。少しでもみんなの役に立てるような、そんな会として発足できるようにということで準備を進めて、結構賛同を得られて、68名で結成できました。みなさんのために、元気で長生きできるための活動とはどういうことかなと考えながら取り組ませてもらっています。



会長 森田さん

副会長をさせてもらっている中で、地区の皆さんと仲良くさせていただいて、会員、役員が頑張っている中、笑顔で行事に出ただけのを楽しみにしています。



会計 佐藤さん

私は基本的に、高齢者は外に出てもらいたい、出てもらえるような企画を考えていきたいなと思います。もう一つは、簡単ではないですが、自分より先輩の人、困っている人、そういう人を少しでも助けたい、そんな形にしたいなと思います。



副会長 生田目さん

私は無理をしないでやろうと思っています。なんでもかんでも役員の中で全部やると思うと長続きしないと思うので頼る時は頼って、自分が出来る時には引き受けて、スケジュール調整をうまくしていきたいですね。



幹事長 星さん

高齢者はもちろんですが、相原区民のみなさんを含めて「相原クラブがあってよかったな」と思えるような相原クラブの活動にしていきたいと思っています。